

特集

機序の解明が進む 六君子湯・大建中湯

米国消化器病週間 (DDW)
米国大腸肛門外科医学会 (ASCRS)

漢方関連24演題が発表

● 巻頭特別インタビュー

漢方も薬効薬理の証明が大事

慶應義塾大学医学部消化器内科学教授 日比紀文 氏

● 対談

「世界へ広がる消化器病の漢方」

埼玉医科大学総合医療センター消化器・肝臓内科教授 屋嘉比康治 氏
川崎医科大学内視鏡・超音波センター 講師 眞部紀明 氏

● ON LINE 調査

漢方薬の使用実態意識調査2010

漢方特集

Nikkei
日経メディカル

<http://medical.nikkeibp.co.jp>

Medical

8

August 2010
別冊付録

2010年8月10日発行
(毎月1回10日発行) 第513号





「漢方医学」のプレカンファレンスワークショップが開催

補完代替医療 (CAM) の臨床・基礎研究分野の世界中のエキスパートが年に1度、一堂に会し、最新の研究成果を発表する国際会議、International Congress on Complementary Medicine Research (ICCMR) の第5回が、2010年5月19～21日にノルウェーのTromsøで開かれた。その本会議に先立って行われたプレカンファレンスワークショップの中で、初めて日本の「Kampo medicine (漢方医学)」をメインテーマとしたワークショップが開かれた。

国際舞台でスポットを浴びた漢方

今回の漢方医学をテーマとした初の国際ワークショップは、「日本漢方をもっと世界に広めよう」と、国際日本漢方医学協会 (ISJKM) 副会長でもあるドイツ・ミュンヘン大学の Reissenweber 氏がオーガナイザーとなって企画、開催された。日本、ドイツ、英国、スペインから参加した演者らが、計13題の講演を行った。日本からは、まず慶應

義塾大学の渡辺賢治氏が「日本漢方医学の特色」と題して講演し、漢方医学は5世紀ごろに伝わった中国伝統医学が江戸期に日本特有の形へ発展したものであること、最近では科学的エビデンスの集積が急速に進んで注目されていることなど、漢方医学の概要と特徴を紹介した。続いて聖マリアンナ医科大学の崎山武志氏、北里大学東洋医学総合研究所の及川哲郎氏、



石川クリニックの石川友章氏らが、基礎および臨床に関する最新の話題を解説した。

世界により積極的な情報発信を

渡辺氏は、「国際的な情報発信こそが、最大の情報収集につながる。中国や韓国は、その点で非常に積極的。日本も『漢方は補完医学ではなく正規医療だ』と主張して国内ばかりであぐらをかくことなく、優れた漢方医学の治療レベルや、伝統医学と現代医学が結びつくことで得られた最先端の研究成果を、国際学会の場でもっと世界にアピールしていくべきだ」と強調する。会場には、案内チラシを見て興味を持ち会場に立ち寄ったという参加者もいたが、「日本漢方は中医学に比べてわかりやすい」「ぜひ臨床で漢方を使ってみたい」などの感想が聞かれたという。

本ワークショップは、日本の漢方医学の実用性・有効性、および漢方エキス製剤の品質の高さを国際的にアピールし、また今後のさらなる漢方医学研究と国際協力を進めていくうえで、貴重な機会となった。



慶應義塾大学医学部漢方医学センター長の渡辺賢治氏。ICCMR には毎年参加している。

ICCMR2010 プレカンファレンスワークショップ プログラム

「国際的な視点から見た日本漢方医学 — 研究および臨床実践における試み」

●日本漢方医学の特色 / 渡辺賢治 (日本・慶應義塾大学)

Session A [前臨床・臨床薬理学的研究]

- 酸化還元バランスの保持—牛車腎気丸の投与が、糖尿病網膜症モデルラットにおける酸化ストレス反応を予防し、グアニル酸シクラーゼ活性化を誘導する / S. Cameron (ドイツ・ゲッティンゲン大学)
- 漢方医学の効果—糖尿病モデル動物における病理組織学上の知見 / 崎山武志 (日本・聖マリアンナ医科大学)
- 機能性ディスぺプシア (FD) 患者に対する半夏厚朴湯の効果—特に胃腸機能に着目して / 及川哲郎 (日本・北里大学)

Session B [臨床研究の最新エビデンスとその方法論]

- 行動研究プロジェクトチームにおける漢方医に対する反響—ウェストミンスター大学メノポーズスタディ / A. Bradford (英国・ウェストミンスター大学)
- 医療用漢方エキス製剤のインフルエンザ感染に対する効果 / 石川友章 (日本・石川クリニック)
- 機能性ディスぺプシアおよび過敏性腸症候群に対する六君子湯と香蘇散の比較 / H. Reissenweber (ドイツ・ミュンヘン大学)
- 欧米諸国における漢方医学の効果—2症例報告 / U. Eberhard (スペイン・エバハルトクリニック)
- 漢方薬の有効性評価について—方法論の検討 / C. M. Witt (ドイツ・シャリテ大学)

Session C [漢方医学の国際的な局面]

- 日本の健康保険制度における漢方医学—日本東洋医学会の役割 / 崎山武志 (日本・聖マリアンナ医科大学)
- 患者中心の漢方医学評価システム—漢方医学のための新しい問診システム / 松浦恵子 (日本・慶應義塾大学)
- 日本と中国の伝統医学教育システムの比較 / 高鵬飛 (日本・慶應義塾大学)
- 漢方はわれわれのものか、それとも彼らのものか? 日本漢方医学を中国伝統医学から解さばく / G. D. Soriano (英国・ウェストミンスター大学)